



わたしの夢

川俣小学校6年

渡邊

優芽^{ゆめ}

お客さんに心から喜んでもらえる

美容師になりたい

わたしの夢は、お客さんに「また来たい」「来て良かった」と思ってもらえる美容師になることです。私が美容師になりたいと思うようになったのは、1年生の頃から通っている美容師さんがいつも自分の思ったとおりの髪型にしてくれたり、他のお客さんへの気遣いが出来ていたりして、そんな姿を見て私もこの人のような美容師さんになりたいと思うようになったからです。美容師は、専門学校や大学に入り、国家資格を取得した後、美容室で見習いを経て一人前になれる。大変だと思いますが、思い通りに髪がカットできた時、お客さんの喜ぶ顔を見ることができるので、とてもやりがいのある職業だと思います。普段から1年生の妹の髪や自分の髪をアレンジしているのですが、それを見た母が「優芽はいつも上手だし向いている」と笑顔で話してくれました。これから学校の勉強やヘアアレンジなどの勉強も続けて頑張りたいと思います。

町長のひとこと vol.28



山木屋地区は、避難解除から今年で7年目となりました。解除後間もなく山ぶどう栽培に取り組んできた廣野新市さんは、令和3年から山ぶどうジュース作りの施設整備、本格的な商品化に取り組みしてきました。販売に向けた手続きやラベルの作成など時間を要しましたが、ようやく完成しました。このことを営農再開等で、ご尽力いただいた福島県庁へ報告と御礼挨拶するため、表敬訪問することになりました。7月11日、廣野さんは、山ぶどうジュースを持参し、これまでの栽培の苦労話や、先進地の視察・研修など勉強を重ねてきたことを鈴木副知事へ報告し、試飲していただきました。「これは美味しい。山ぶどうから、こんなに甘く美味しいジュースが出来るのですね」と絶賛され、販売・PR活動に頑張ってくださいと、激励をいただきました。また一つ山木屋の新しい商品の発売が楽しみです。